

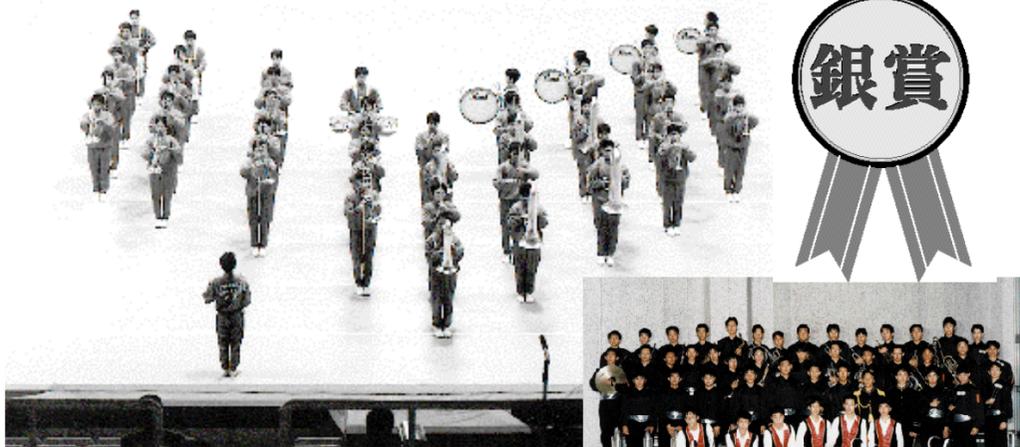
大 塚 人

平成9年5月10日発行第31号(通算35号)

'97-31

<発行所>
福岡大学附属 大塚高等学校同窓会
〒810 福岡市中央区六本松1丁目12号1号
TEL. 092-771-0731(代表) 直通714-1681
発行人 原 維宏
編集人 平島文憲
<印刷> 福岡総合印刷株式会社

福岡大学附属大塚高等学校同窓会会報



マーチングコンクール九州大会 プラスバンド部 銀賞受賞

平成八年十月北九州市で行われたマーチングコンクール九州大会において本校プラスバンド部は銀賞を受賞した。昭和六十二年初出場の同大会では金賞を受賞。その後平成二、三、五、八年と今回で五回目の出場となり、その実力は証明済み。もちろん福岡県大会では金賞を受賞しての九州大会出場である。本校体育祭において、プラスバンド部のマーチングがひとつの呼びものとなっているのもご承知の通り。今後の活躍が益々期待される。

創立五十周年を一年後に控えて
学校長 近藤達男

昭和二十三年に福岡大学の附属として大塚中学校が認可され、初代校長に井口末吉先生が就任されましたが、戦後、日も浅い、それこそ「ないないづくし」の物資の乏しい中で、また劣悪な教育環境の中で、創設の意に燃えた我々の先輩は、学園の基礎づくりに汗を流して来られました。(中学は二十六年に閉じられる)



昭和二十六年に現在の大塚高等学校が認可されましたが、爾来、日本社会、国際社会の大きな変動の中で、本校は進学、運動面において社会的にも高い評価を得るようになり、来年には創立五十周年を迎えます。同窓会諸氏には、その後ご健勝にして、それぞれの分野でご活躍のことと拝察申し上げます。孔子は「知命、つまり「五十にして天命を知る」と言っていますが、凡夫の身に「天命を知る」とは難しくとも、創設期の苦しみと耐えて伝統を築きあげてきた先輩方の「もつと努力をせんかい、汗を流さんかい」という叱咤激励の声は聞くことができるようでございます。この五十年という大きな節目に当って、大塚高校も更に壮大なるものを求めて発展していかねばなりません。それには我々教育現場の者が現在の大塚に胡座をかいてはなりません。「淀む水は腐れる」の喩えの如く、発展させるには絶えず動く水の流れのように、清新な意気に燃えて、「前向きなアクション」を起こすことが大事だと思います。そして現場の我々と、同窓会三万余人の諸氏と互いに連繫を密にして、積極的な努力を続けていくことが肝要かと存じます。学校の方でも昨年より、五十周年記念事業委員会」を設け、一年後の記念式典に向けて、記念誌編集の作業を中心に取り組んでいますが、かなり厳しい財政事情ですので、同窓会諸氏の母校愛に訴えて、お一人おひとりの切なるご協力をくれぐれもお願ひ申し上げます。最後にになりましたが、同窓会諸氏のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

母校創立五十周年記念事業について(募金のお願い)

終戦後の混乱期の昭和二十三年四月、大塚中学校が創設され、昭和二十六年四月には高等学校が設置されました。質実剛健の理念をにかけて中学校が創設されて以来、平成十年には五十周年を迎えるに至りました。

『大塚』も今や西日本における私学の雄として目覚ましい発展を遂げています。この五十周年の節目を迎え、私たち同窓会では、記念事業として学校の施設設備、教育研究の充実に支援することになりました。時代が求める人材育成の「智の基地大塚」を願うての事業です。

- 同窓生皆様の格別のご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。
 - 学校が行う記念事業の内容(案)
 - 一、記念式典(平成十年四月に挙行)
 - 二、講演会、祝賀会
 - 三、記念誌の発行
 - 四、座談会の開催
 - 五、校友会体育海外遠征試合及び招待試合
 - 六、同窓会館の建設
- また、古い写真や資料等お持ちでしたら、記念誌発行のために、ぜひ提供していただきますようお願いいたします。

記

- 一、一口壱万円(何口でも結構です)金額の一口壱万円は一応の目安であり上下は自由です。
 - 二、郵便局振込の場合は、同封の振替用紙をご利用下さい。
01750・7・31238
福岡大学附属大塚高校同窓会
払込手数料は、加入者負担です。
 - 三、銀行口座払込みの場合は、次の指定銀行をご利用下さい。
西日本銀行六本松支店
普通預金650088
福岡大学附属大塚高校同窓会
会長 原 維宏
払込み手数料は、大変恐縮ですが払込者負担をお願いいたします。
送金の際は文書扱いをお願いいたします。
- なお各方面から重複してお願いすることもありますが悪しからずご了承下さい。
- 連絡先(同窓会室)
電話092(七二四)二六八一番
FAXも同じです。

変更通知は必ず出してください!

同窓生はいつもあなたの消息を気遣っています。
住所・氏名・勤務先等の変更について
現住所は、町名番地等変更の場合、すぐご連絡ください。
読みにくい氏名・地名にはフリガナをつけてください。
変更の箇所を朱書などでお示しください、整理上便利です。

同窓会年会費

同窓会の大いなる発展のために、よろしくご協力ください。

年会費 ¥1,000円

《納入方法》振替用紙(指定)を用いて最寄りの郵便局でお払込み下さい。

副会長 郡田紀久雄
(財政委員長)

編集後記

当編集子、記事の「海外語学研修」に同行のため、一番多忙な時期に、編集関係各方面に多大な御迷惑をおかけ致しました。ニューヨークを飛び朝は突然の寒波で大雪、日本に帰ったら花見だと思っていたところが、帰国そうそう雨続きで桜は散ってしまい、花見はできず。年中行事を消化できず、何か中途半端な気分です。同窓会諸氏は今年の桜をいかがご覧になったでしょうか。

さて、総会の季節が近づいてきました。花見と一緒にしては怒られますが、今年も諸兄と杯をかわせることを楽しみにしています。

化学部 全国大会へ

平成八年十一月奈良県で行われた日本化学会が主催する「第二回全国高等学校化学クラブ研究発表大会」で「植物による二酸化窒素の浄化」についての研究発表を行い入賞を果たした。

化学部はここ数年、地球環境問題の一つである酸性雨について、何らかの対策ができないか、というテーマのもとに研究を行い、大気中の二酸化窒素の測定・植物による二酸化窒素低減作用・土壌による酸性雨緩衝作用などについての研究を続けてきた。今回の発表は、これらの研究成果をまとめたものである。大会において、DNAの二重らせん構造モデルを提唱し、ノーベル生理学医学賞を受賞したワトソン博士をはじめ多くの先生方より称賛の言葉をいただいた。今後は植物や微生物と窒素酸化物との関係に焦点を絞り、大気汚染の問題を取り扱って行くとの事であり、今後の研究成果が期待されている。

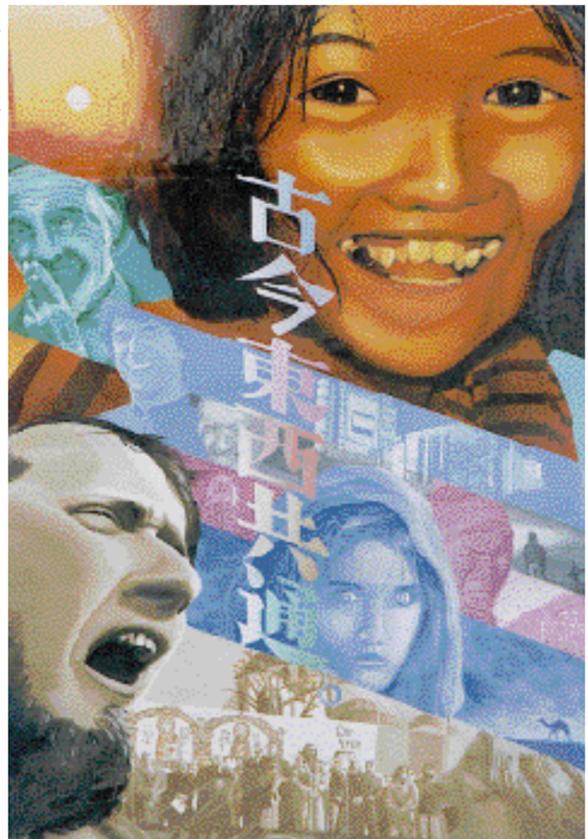


ワトソン博士夫妻と化学部員・顧問の大塚先生

第20回全国高等学校総合文化祭 美術・工芸部門(北海道大会) 出場を終えて

初の快挙である全国大会出場が決定したのは、平成七年十二月に開催された第十回福岡県高校総合文化祭美術・工芸展にて本校二年生の中川大地君(美術部・部長)の作品がデザイン部門三点の中の一点に選ばれた事に始まった。美術・工芸部門というのは、絵画・彫刻・工芸・デザイン部門の四部門より構成され、応募校八十七校、総数五十五点の応募作品があった。

さて全国大会は平成八年八月六日総合開会式で幕をあげ、美術・工芸部門展示会場は北海道立近代美術館で開催された。美術・工芸部門の交流会では全国の参加生徒による柳の木で作った立体を中島体育館いっばいに組み立てた。また、体育館内部には道内四十余りの高校による縦十メートル横一八メートルの垂れ幕に、様々な作品が所狭しと展示されていた。中川君の「古今東西共通」の作品は会場の中央部に展示されていたが、ひととき目を引いている様に感じた。この作品を彼は文化祭が終わってから制作し始めた。一年時、無冠で終わつた意志の強さにも思われた。あまり意志表示をしない彼が怖い表情で、「先生、僕、全国大会に行きますよ」と私に言ったことがあるが、まさか本当に実現



させるとは...

この作品は中央上部にフィリピンの少女が主役で描いてあり、村山首相・ジャッキー・チェン等々多くの人物が描かれている。全体的に世界の人類平和を表現している様だ。

もう一つ喜ばしい事は、彼は現役で美術大学に合格した事だ。卓越した才能を更に開花させて欲しいものである。機会があれば再度全国大会に行きたいものである。私と中川君にとつて忘れられない思い出の夏となった事は言うまでもない。最後に全国大会出場に際し、お世話いただいた関係各位に厚くお礼申し上げます。

(美術部顧問 池尻真)

海外語学研修

本校三十二名が
アメリカ東海岸へ

本校が主催する海外語学研修もアメリカ・イギリス・オーストラリアと回を重ね、今春はニューヨークとボストンへ計三十二名の生徒が赴いた。十八日間の研修期間中は現地の高校の生徒宅や教員宅へのホームステイであった。平日は現地の高校で英会話の授業を受け、休日には現地の高校生とともに観光などに出かけ、有意義な時を過ごした。



同窓会の充実を願って

同窓生の皆さん、いかがお過ごしでしょうか。今年もまた総会の時期が近づいてまいりました。一人でも多くの卒業生の方に参加していただき充実した総会にしたいと思っております。



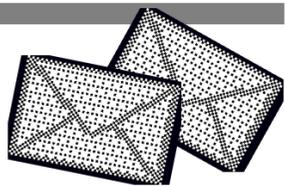
さて、来年は学校創立五十周年を迎えます。母校では記念の諸行事を企画しております。五十周年記念式典、講演会、記念誌の発行などです。また校友会体育部海外遠征試合や同窓会館建設の案などもでてくる予定です。同窓会はこの五十周年事業の取り組みに対して、母校へ全面的に協力したいと思っております。準備期間は、一年しかありません。同窓生の皆さんには、趣旨をご理解のうえお力添えいただけますようお願い致します。

昨年五月には、十八年ぶりに同窓会名簿を発行することができました。名簿発行には、同窓生の力強いご協力を得ましたことを心よりお礼申し上げます。なお、名簿はまだ在庫がありますので同窓会室(電話七四一六八一)へお申し込み下さい。一冊五〇〇〇円でお譲りしています。この名簿をもとに同窓会活動を一層発展させて頂きたいと思っております。

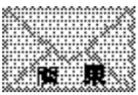
国際化著しい今日において、このようなプログラムの必要性は今後ますます高まるものと思われ、海外で活躍する同窓生の把握なども必要になるであろう。同窓会諸氏のご理解とご協力を。大塚人は世界にはばたく。

支部だより

各支部からの報告



- 部 部 会 部 部
- 支 支 友 支
- 東 海 西 医 学
- 関 東 鶴 関 福



関東支部

関東支部結成十五周年にあたって
支部長 齊藤昭彦(一回卒)

「三日、三月、三年」「一年、三年、五年、十年、十五年...」の言回しがあります。本年は、当支部十五周年の節目の年にあたります。

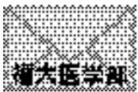
顧みれば、関東圏在住の有志の間に、同窓の連帯の環を持つことの、母校への想いが高まり、昭和五十六年初めての集い(総会・懇親会)を持ち、回を重ねつつ今日に至りました。

この間、同窓生各位、同窓会本部、母校の物心両面にわたるご指導・ご協力を改めて感謝申し上げます。また、兄貴分にあたる関西支部、新たな中京支部と太平洋ベルト地帯を結ぶ大きな絆が出来たことも意を強くするものであり、ご同慶の至りでありませぬ。

さて支部の現況ですが、政治・経済等の中心地の特性から転勤等が多く、最新の会員名簿の作成、同窓生の掌握に意を用いているところであります。

同窓会活動としては、全国大会出場の母校の応援、近年ではサッカー、バスケット、バレー等がありました。野球の応援、駅伝も期待大なるものがあります。

「若さは力なり」若き生徒の皆さん、



福大医学部

福岡大学医学部に、毎年四、五人の同窓生が入学してきます。附属高校なので、推薦入学もあり、入学生に占める大濠卒業生は、それなりの人数だと思えます。この事自体は、非常に良い事だと思えます。また小生は医学部同窓会の仕事もしていますので、色々と経験させて貰って最近感じた事を、書かして頂こうと思えます。

『官主民従』と言う言葉が有りますが、今迄は、我国はこの制度で今日の地位まで登り詰めて来たのだらうと思えます。しかし、今の日本で起こる色々な出来事、またこれから起こりつつある事は、このシステムが制度疲労を起こしつつあるからだ、と、社会評論家達は言っています。

そして、『民主官従』へと脱皮する事が時代の流れであり、好むと好まざるに拘らずそうしなければ世界の中で、『先進国日本』としての評価を維持できなくなる状況が刻々と近づいていると評論しています。

支部だより

『何を成すべきか?』と考える時、小生は、先ず、『民』の中の深層心理に在る、漠然とした、否、無意識と言ってもよいかもしれない、『官』に対する

『劣等感』や『卑屈感』、またこの感覚に、根幹では繋がっているのではないかと思われる『依頼心』、この三つは完璧に心理的に払拭される事が、『民主』になる為に、まず第一に、『民』に要求される事のように思えます。その理由は、この事が、『民』の中で完全に処理された時に初めて、『民主』になる為に是非必要な、『誇り』と言う意識が誕生する土壌が、完成するのではないかと思っています。そして、『誇り』と言う『木』はその『土壌』に、『独自性』と言う『種子』を撒いて初めて生える『木』ではないか?と思われてなりません。

そして、その『誇り』と言う『木』自身は、本物の『木』である事を、自ら証明せねばなりません。その『証明』をする為に必要な自らの仕事があるのではないかと思えます。その『証明』をするのが、『具体的な実績』と言う事であり、しかも、『獨創性』と言う味のする『果実』を、その『木』自身が実らせねばなりません。そして初めて、『誇り』と言う名前が、その『木』に付くのではないかと考えるのです。そして、本物の『誇りの木』の苗木を植込む事が出来たら、今度は、『時間』と言う水(栄養)を注ぎ、この苗木を育てて行かねばなりません。そしていつの日か、この苗木が、『伝統』と言う『大木』に成長する迄、気長に、焦らず、水を注いで行かねばならないと思えます。今、我々支部は、その仕事の最中の様に思えます。理想は、一言で言え

ば『懐とした伝統を作りたい。』と言う事です。『民』の中の一員(集団)として、最近、支部の中で実感として考えた事を、思い付くまま書いてみました。言葉としては少し(否、かなり)不足と思いますが、福大医学部支部員全員、元気に頑張っている事を、同時に報告して、支部便りとさせて頂きます。

高木忠博(15回卒)

第四十四回 定例総会(案内)

- 日時 平成九年五月十七日(土) 午後六時より
- 場所 福岡国際ホール 福岡市中央区天神
- 西日本新聞会館十六階
- 会費五、〇〇〇円(多数の催物あり) 会員の皆さん、お誘い合せの上、ご参加下さい。
- 前売券は、各回幹事が販売中 (並口受付可)
- 担当理事副会長大野治憲(13回卒)

前校長 長谷暢男先生逝去さる

第四代校長の長谷暢男先生は、去る四月十八日(金)午前十時七分、入院先の福岡大学筑紫病院でお亡くなりになりました。享年六十三歳。



告別式は四月二十一日福岡市中央区古小鳥の積善社福岡斎場で行われ、約百名が参列されました。長谷先生は昭和三十三年西南学院大学文学部英文科を経て同専攻科を卒業され、以来教職につかれました。昭和三十六年より三十五年間、本校にお務めになりました。昭和五十五年より七年間の教務主事、一年間の教頭職を経て、昭和六十三年より二期八年間、第四代校長としてその職務を果たされました。先生の教育に対する情熱は、深く我々同窓生の心に残るものであり、同窓生一同先生のご冥福を心からお祈り申し上げます。



大濠中学校の同窓会総会が、平成八年十一月八日(金)午後六時三十分より、ホテルニューオータニ博多で開催されました。

大濠中学卒業生は、第一回生から第八回生まであり、年に一度同窓会総会を開催している。卒業年度ごとに持ち廻り幹事で総会を開催しているが、平成八年度の幹事は、第八回卒業生の山崎信之氏が、中心となり準備をされました。当日は、一〇名の参加がありました。また先生方も校長先生をはじめ

十二名の先生方にご出席いただきました。懇親会では、久しぶりの再開で交流を深めることができました。



大濠高校同窓会会員の諸兄に於かれましてはご健勝のことと存じます。また五回生の皆さんお変わりありませんか?我々第五回生の平成八年度学年同窓会は十一月十五日に中洲の「大阪屋」で開催致しました。当日は恩師の浅田先生、木下先生、同窓会本部より原会長、郡田、本村両副会長もご多忙の中ご出席いただきました。お陰様で年々盛会となっておりますが、再来年には五回生もいよいよ還暦を迎える年になってしまいました。その折には今迄以上に派手にやりたいと思っております。我々ワルソ一の担任をしていただいた恩師の中で、末次先生、大城先生、浜野先生が既に故人となっておられることは誠に残念ですが、幸い浅田先生、木下先生共にお元気そうでした。暖かい眼で我々を見守っていただけると思っております。

当日は天国よりご出席いただいた各先生、同窓生に一同黙祷を捧げ、乾杯のあと懇親会に移りました。各テーブルに盛られた豪華な料理に手をつける



福岡県庁支部が発会

福岡県庁支部が発会 (会員数六十二名) 二月二十六日に八仙閣にて発会式を行った。

卒業二十五周年記念の 全体同窓会を開催

四月九日 第九回卒業生が卒業二十五周年記念の全体同窓会を開催。八仙閣にて行われ、約百名の出席があった。